

Sechs kleine Präludien für Anfänger auf dem Klavier

Johann Sebastian Bach

6つの小前奏曲 BWV933-938

1. ハ長調 BWV933

2. ハ短調 BWV934

3. ニ短調 BWV935

4. ニ長調 BWV936

5. ホ長調 BWV937

6. ホ短調 BWV938

解説 / 市花 真弓

「クラヴィーア初心者のための6つの小前奏曲」というタイトルをもち、様々な曲想の6つのプレリュードから構成されています。また、調の配列がハ長調 - ハ短調 - ニ短調 - ニ長調 - ホ長調 - ホ短調という上行形に整えられ、どの曲も二部リード形式で書かれています。バッハが一つの作品と考えていたことは明らかと思われます。インヴェンションを学習する前に、よく用いられている曲集でもあります。

第1番 ハ長調 BWV933

テンポは、*Allegretto* から *Allegro* が適当と思います。

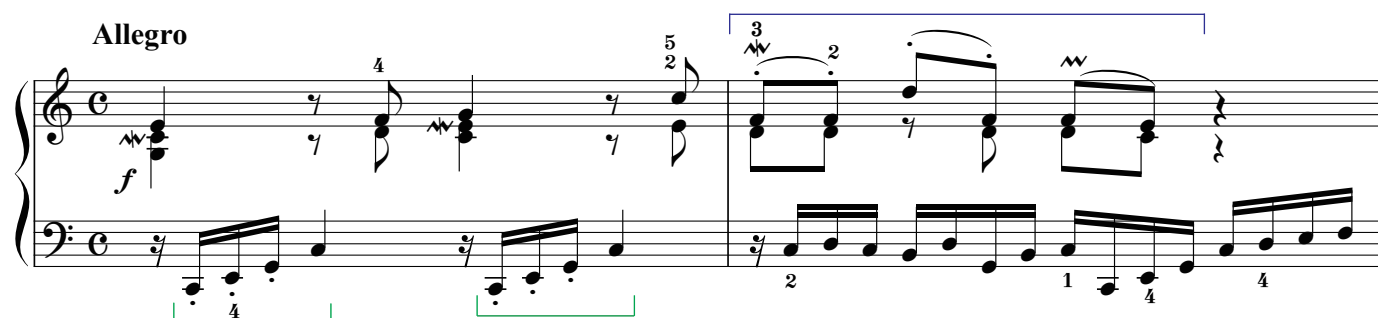
曲集の冒頭にふさわしい歯切れの良い曲となっています。

1小節目のモルデントは、 と演奏下さい。

2段目2小節の装飾音は、 又は  と演奏下さい。

この曲の16分音符、1小節目左手のフレーズ（対旋律）はノンレガートで演奏下さい。8分音符は、フレーズ表記しました箇所以外はノンレガートで演奏下さい。

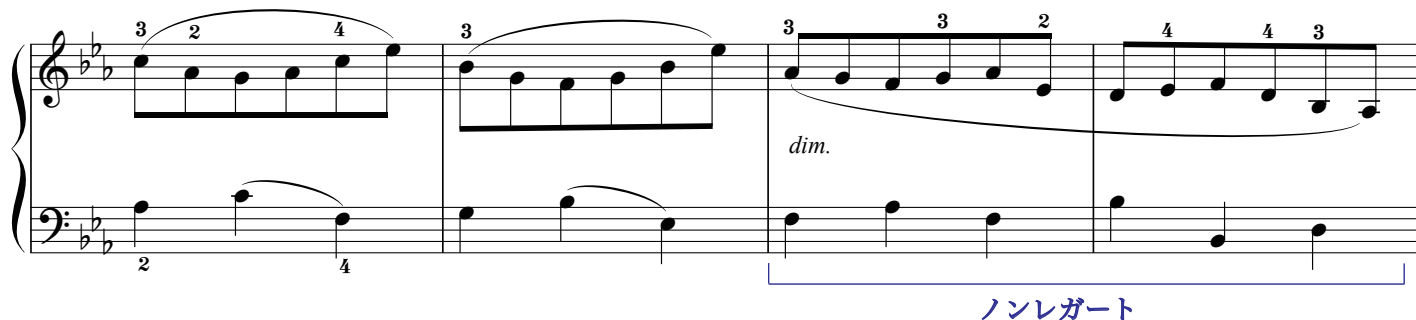
Allegro



第2番 ハ短調 BWV934

Con moto は「動きを持って」という意味です。速過ぎず、バッハらしく動きを持って演奏出来ると良いと思います。シンプルな曲ですので、意外と難しいと思います。

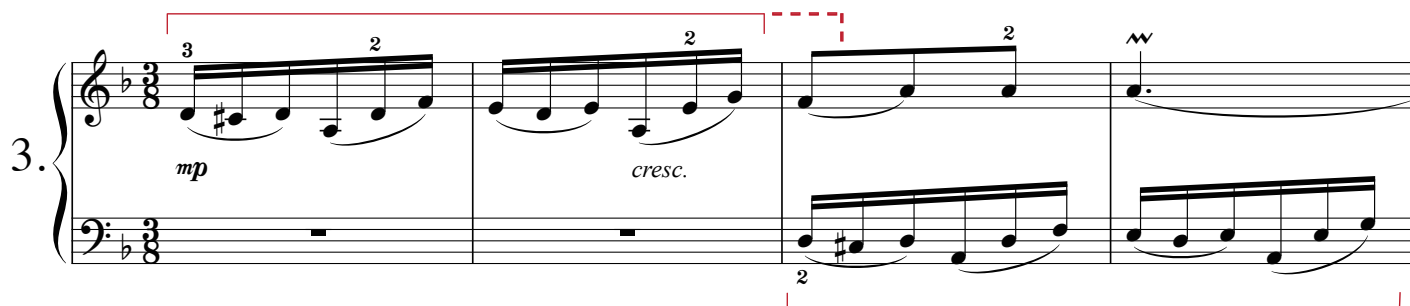
8分音符は、全体にフレーズ表記致しました。演奏の参考にして下さい。4分音符は、フレーズ表記した箇所以外はノンレガートで演奏下さい。



ノンレガート

第3番 ニ短調 BWV935

この曲は、2声の模倣対位法で書かれています。「2声のインヴェンション」の様式に近い関係があります。主題は冒頭2小節となりますが、主題のフレーズは以下のように捉えて下さい。(3小節1拍目までという解釈もあると思います。その場合は、8分音符はノンレガートが適当だと思います。)



対旋律の8分音符は、フレーズ表記した箇所以外はノンレガートで演奏下さい。

8ページ5段目の装飾記号  は、版によっては、  と

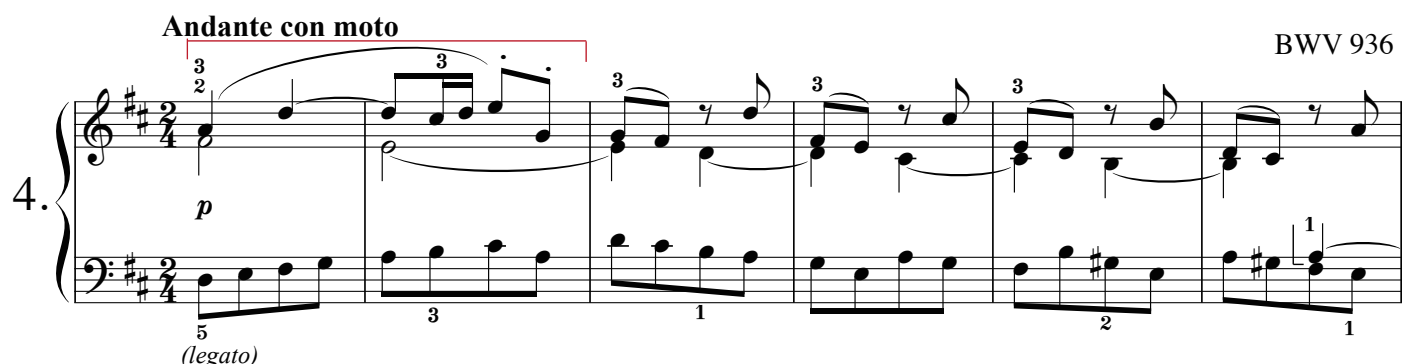
なっていると思います。  というように演奏下さい。

第4番 ニ長調 BWV936

テンポは、*Andante con moto*。

左手の8分音符は、*legato* と指示させて頂きましたが、演奏者によりましてはノンレガートで演奏していると思います。(ノンレガートで演奏している方の方が多いかもしれません。)

主題はフレーズ表記しましたように演奏下さい。

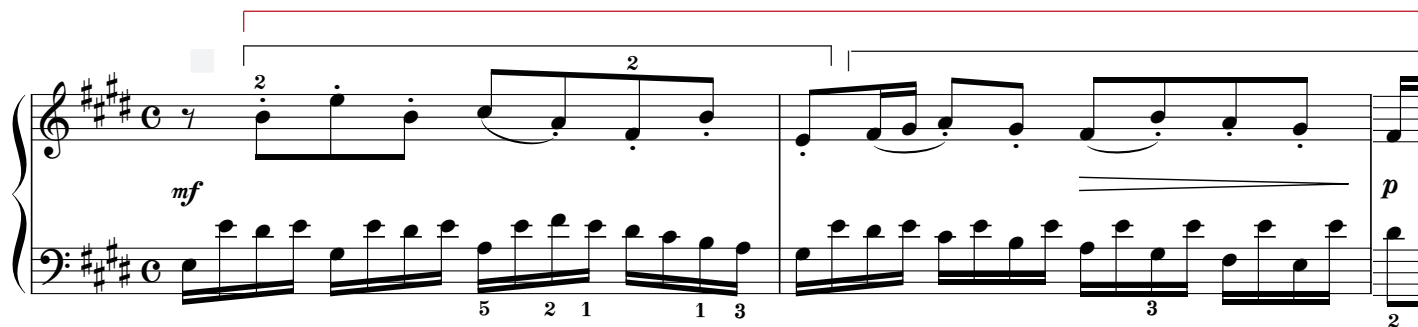


後半の主題の掛け合いは、フレーズが変えられています。冒頭主題が置かれているのは、前半リピート前と曲の最後のみとなっています。

第5番 ホ長調 BWV937

第3番同様、2声の模倣対位法で書かれています。第3番、第5番、第6番は、2声のインヴェンションに近い性格を持っています。

主題のフレーズの取り方は、演奏者、版により様々だと思います。以下のように演奏している方も多いと思います。



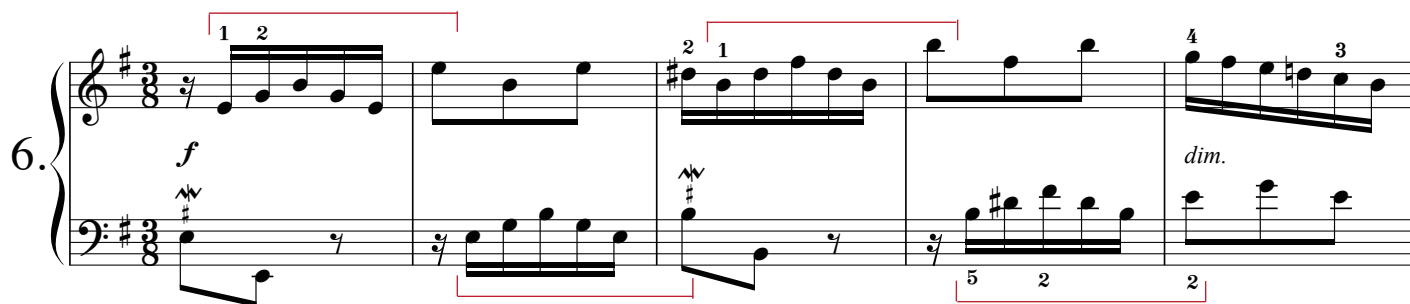
私の楽譜は、8分音符はノンレガートで演奏して下さい。

テンポは、*Allegretto vivace* 又は *Allegro* が適当だと思います。

第6番 ホ短調 BWV938

第3番、第5番同様に2声のインヴェンションに近い様式で書かれています。

曲の冒頭は、上声主題、下声主題、上声主題、下声主題と交互に主題が置かれています。



後半冒頭も同様に主題が配置されています。

第1番～第6番全て強弱も記させて頂きましたが、強弱は演奏者により様々だと思います。リピート時に強弱を変えて演奏している方も多いと思います。私が記しました強弱は、演奏の参考にして頂けましたら幸いです。